

2019年2月8日
〈プレスリリース資料〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州

「サンタナ・デ・パルナイーバ市車椅子整備施設建設計画」に係る
草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式について

在サンパウロ日本国総領事館

2月1日(金)午後2時30分、「サンタナ・デ・パルナイーバ市車椅子整備施設建設計画」に係る草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式を、「地域博愛福祉団体・平和の女王」(以下、「平和の女王」)のヴァルテル・バラナ・ニコロジ理事長と当館野口泰総領事との間で行いました。

● **出席者の挨拶:**

(野口泰総領事)

「平和の女王は、2001年8月にサンパウロ州サンタナ・デ・パルナイーバ市において設立され、同市を含む周辺の17の市の貧しい家庭から、身体的又は精神的に障害を持つ青少年ら約450名を無償で受け入れていると聞いています。理事長を始めとする職員の皆様の長年にわたる取組に敬意を表します。

現在、青少年らが使用している車椅子は、職員が施設内の作業スペースで一人一人の青少年の症状に合わせ、オーダーメイドで作成していると聞いております。この度の草の根・人間の安全保障無償資金協力では、車椅子の整備及び保管のために十分なスペースを持つ新たな施設の建設に対して支援を行います。車椅子の整備及び保管の環境を改善することにより、社会福祉の改善に貢献することは当館にとっても大変喜ばしいことです。」と祝辞を述べました。

(ヴァルテル・バラナ・ニコロジ理事長)

「これまで様々な地域でブラジルに協力してきた友好的日本に対して感謝の気持ちで一杯です。団体の代表として感謝の言葉しかありません。

日本は、草の根を通じて貢献だけではなく、他の数多くの立派な貢献も見受けられます。日本は常にブラジルにとって家族の一員のような存在です。

私たちは車椅子を必要としている子供たちのために立派な車椅子整備施設を建設します。完成しましたら是非皆様で見にきてください。」と謝辞を述べました。

● **案件の基本情報**

案件名: サンタナ・デ・パルナイーバ市車椅子整備施設建設計画

被供与団体: 地域博愛福祉団体・平和の女王

プロジェクト実施地:サンパウロ州サンタナ・デ・パルナイーバ市

契約書署名日:2019年2月1日

供与限度額:52,252米ドル

供与品目:車椅子の整備及び保管のための施設の建設

●案件概要:

1. 平和の女王は2001年8月にサンパウロ州サンタナ・デ・パルナイーバ市において設立され、同市を含む周辺の17の市の貧しい家庭から、身体的または精神的に障害を持つ青少年ら約450名を無償で受入れている養護施設です。
2. 支援を受ける青少年らは基本的に車椅子を利用しており、施設の職員が施設内の作業スペースで一人一人の青少年の症状に合わせたオーダーメイドの車椅子を整備しています。しかし、現在の作業スペースは、車椅子の整備及び保管のための十分なスペース確保できておらず、整備及び保管に支障をきたしています。
3. 今回の協力は、車椅子の整備及び保管のために十分なスペースを持つ新たな施設(床面積261㎡)の建設に対し、52,252米ドルを限度に無償資金協力を行うものです。車椅子の効率的な整備及び安全な保管に資することにより、社会福祉の改善に寄与することを目的としています。

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班
(0xx11)3254-0100

【署名式典当日の様子】



野口泰総領事(左)、ヴァルテル・パラナ・ニコロジ理事長(右)

